

# 研修体験記

令和3年度

鹿児島市立病院 歯科臨床研修プログラム修了生 尾林 莉咲 先生

初めまして、令和3年度鹿児島市立病院歯科臨床研修プログラムを修了した鹿児島大学出身の尾林莉咲と申します。現在は鹿児島大学病院に勤めながら大学院で勉強をしています。私が当院歯科研修医の1期生という扱いをされていますが、以前から歯科研修はありました。鹿児島大学病院の協力施設として半年間だけの研修でしたが、地域の中核となるような歯科医師を育てるには半年では足りないということで単独型に切り替えたそうです。そんな先生方の意向を知る由もなく、少ない症例を学生や若手の歯科医師達と分け合いながら研修するのが嫌という高尚ではない理由でマッチングを志望しました。こんな稚拙な理由でしたが私の歯科医師人生は華々しいスタートを切ることができたと思っています。

歯科だけの1年間延患者数が1万人越えるところを5人の歯科医師（研修医含む）で回しているのですからかなりの数の症例を経験できます。500本ほどは抜歯をしました。埋伏歯に絞るなら300本弱ではないでしょうか。抜歯術以外にも径3cm以上の嚢胞摘出術、骨折のプレート固定術の術者まで担当させていただきました。外来で診察をしながら病棟管理を行いますからそれなりの外科の知識、手技を身に着けられました。

さて、一般歯科の方はどうかというと、正直言って経験症例は多くはないです。1週間、口腔保健センターに出向するのですが、そこで一般歯科に触れることができました。ここなら一般歯科を学べると思い、我儘を言って出向を2週間に伸ばしてもらいました。まだできたばかりの研修プログラムですから研修医の要望に柔軟に応じてくれます。

医科の研修医とも仲良くできます。お互い忙しかったから励ましあいながら働いていました。そこでできた絆はすごく強いものになりました。戦友と言っても差し支えないです。当院を離れた今でも連絡を取りますし、たまに会っています。

研修するのに大した理由はいりません。もちろん見学にも大した理由はいりません。綺麗な病院の中を見たいという理由でいいのです。見学に行ったら社食をごちそうしてくれると思います。外の病院を経験しに一度当院に遊びにきてください。